

2001年1月19日付契約書第15u号に基づく作業完了報告書

圧縮機AU 200： 吐出し量の増加、 電流と潤滑油消費量の低減

MKF閉鎖株式会社 圧縮機部門・報告書承認：技師長代行G.G.ジェニコ・作業実施者：GEVS & Co.有限責任会社

マリウポリ市（ウクライナ）・2001年1月19日付契約書第15u号・2001年2月8日付作業完了報告書

製品

XADO技術®
契約書第15u号に基づく圧縮機の
再生修理

処理対象機

圧縮機AU 200 No.9
圧縮機本体および駆動用電動機

文書の種類

作業完了報告書
MKF閉鎖株式会社、2001年
2月8日

対象機	部位	測定項目
圧縮機AU 200 No.9	圧縮機本体	吐出し量・潤滑油消費量
圧縮機AU 200 No.9	駆動用電動機	各相の運転電流

測定は同一の対象機で処理前と処理後に行った。作業の全工程に要した期間は20日間である（契約書2001年1月19日付、作業完了報告書2001年2月8日付）。

主な結果

↑ **83 %**

圧縮機の充填時間、11 → 6 s

↓ **18 %**

駆動用電動機の各相の運転電流、110
→ 90 A

↓ **2.1×**

潤滑油消費量、15 → 7 l

圧縮機本体：処理前後の測定値

パラメータ	処理前	処理後	変化
測定時間（吐出し量の指標）	11 s	6 s	吐出し量 83% 増加
潤滑油消費量	15 l	7 l	2.1分の1 に減少

吐出し量は測定時間で評価した。測定時間が短いほど、同一時間内に圧縮機が吐き出す空気量は多い。

駆動用電動機：処理前後の測定値

パラメータ	処理前	処理後	変化
各相の運転電流	110 A	90 A	18% 減少

電流は吐出し量の増加と同時に低下した。圧縮機の摩擦部位で駆動装置が受ける抵抗が小さくなったためである。

結論

MKF閉鎖株式会社圧縮機部門の圧縮機AU 200 No.9は、契約書第15u号に基づき、XADO技術®による再生修理を受けた。測定は同一の対象機で処理前と処理後に行った。吐出し量は増加し、測定時間は**11**から**6 s**に短縮した。駆動用電動機の各相の運転電流は**110**から**90 A**に、潤滑油消費量は**15**から**7 l**に低下した。重要なのはこれらの組合せである。圧縮機は吐出し量を増やしながら、より小さい電流で運転するようになった。これは圧縮機各部の摩擦損失が低下したことを直接示す。2001年1月19日の契約書締結から2001年2月8日の報告書署名までの全工程は20日間であった。報告書はMKF閉鎖株式会社の技師長代行が承認し、圧縮機部門長、電気・動力設備保全責任者および作業実施者の代表者が署名した。

XADO

© XADO. 無断転載禁止。

本結果はMKF閉鎖株式会社圧縮機部門の圧縮機AU 200 No.9とその使用条件に対するものであり、他の機器・運転モードでは測定値が異なる場合がある。作業は2001年1月19日付契約書第15u号に基づきGEVS & Co.有限責任会社が実施した。署名および押印のある報告書原本は全文公開されており、ダウンロードできる。